

芦屋川の歴史

4

芦屋市指定文化財 芦屋川の文化的景観

芦屋川が育んだ歴史

芦屋川の名は古代や中世に、すでにみられます。この川が育んできた歴史は長く、そして豊かなものです。その歴史をみれば、先史・原始から変遷を遂げてきたことがわかります。

芦屋川の周辺では、地形の影響を受けて、その右岸(西岸)側と左岸(東岸)側において、ようすが大きく違います。具体的には、水害を受けずに比較的安定している右岸側には集落が営まれてきたのに対して、洪水の被害を多く受けてきた左岸側は集落があまり営まれませんでした。

このように、芦屋川の両岸において環境が大きく異なっていたことが、右岸域と左岸域それぞれの土地利用の歴史に大きな影響を与えてきたのです。

近世の芦屋川

豊臣秀吉が天正11年(1583)に築造を開始した大坂城(豊臣大坂城)と呼ばれています。その石垣用石材の多くを六甲山地から調達しました。ただし、この時期の採石活動は自然石を対象としていたため、明確な採石の痕跡は残されていません。

幕府は戸田氏鉄に大坂城の再築を命じ、元和6年(1620)寛永6年(1629)には、東六甲の山地および丘陵において、石垣用石材が切り出されました。その痕跡は、徳川大坂城東六甲採石場として知られています。



『撰津名所図会』(寛政8年・1796)刊行に描かれた芦屋川(撰津名所図会(版本地誌体系10)1996 臨川書店部分合成改変)

芦屋川流域城山のふもとに水車に伴う樋(大正9年(1920))



徳川大坂城東六甲採石場では、神戸市東灘区から芦屋市西宮市にかけて6つの刻印群が設定されていますが、芦屋川水系に関連するものには、上流右岸側の城山刻印群と、上流左岸側の奥山刻印群があります。なお、「刻印」とは、石に彫られた大名の家紋をはじめとする記号のことです。

江戸時代の芦屋川の景観は、寛政8年(1796)に刊行された『撰津名所図会』(秋里籠寫著 竹原春朝 齋画)に描かれており、川岸の松林が海岸まで連なっていたようすを想像することができます。明和6年(1769)の史料には「芦屋川幅、往還筋にて六十間、下通りにて九十間」と見え、川幅を意識した両岸堤の普請を明瞭に示す記録があります。

芦屋川の水利については、天正17年(1589)に芦屋村で定められた芦屋川用水の「日数定」が知られています。農業生産に大切な灌漑用水として、芦屋川には3カ所の取水

【主な参考文献】

- 『芦屋 今むかし』
〈市制施行50周年記念写真集〉芦屋市1990年
- 『芦屋子ども風土記』第1～9集
芦屋市文化振興財団1992～2000年
- 『芦屋のうつりかわり』
〈市制施行50周年記念写真集〉芦屋市1990年
- 『芦屋の自然』自然観察ガイドブック 環境課2008年
- 『芦屋の生活文化史—民俗と史跡をたずねて—』
教育委員会1979年
- 『新修芦屋市史』本篇 芦屋市1971年
- 『新修芦屋市史』続篇 芦屋市2011年
- 『みんなで語り、伝えよう！芦屋川物語』六甲の川物語
国土交通省近畿地方整備局
六甲砂防事務所ホームページ
<http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/rokko/study/ashiya.php>

※このページでは、生涯学習課が発行した「芦屋川の歴史」を広報国際交流課が再編集して紹介しています。

この井手は、山芦屋町に位置しており1カ月30日の内13日間取水が認められ、後に東川用水の「一の井手」となりました。同じく右岸側に位置する「二の井手」と「三の井手」は芦屋川の取水口として、

五ヶ村(三条村津知村・森村・深江村・中野村)の用水源として利用されました。



発掘調査で明らかになった芦屋川水車場跡(平成18年(2006) 山芦屋町)

1カ月30日の内17日間取水が認められました。さらに、中世以来の農業用灌漑に加えて、享保年間(1716～1736)には、六甲山地の急流を利用した水車業が盛んに行われるようになり、商業的な色彩を帯びた水利用もはじまりました。

このような状況であったため、用水の安定確保を目的として、天保12年(1841)から約20年かけて、芦屋村年寄であった猿丸又左衛門安時によって標高500mを超える高所に奥池(奥山溜池)が築かれ、芦屋川の水がめが誕生しました。

シリーズあしや子ども風土記

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

■シリーズ「あしや子ども風土記」は、美術博物館・市役所売店で販売しています



- 第2集「歴史さんぽ」
- 第3集「植物のかんさつ」
- 第4集「小さな生きものたち」
- 第5集「文学さんぽ」は各冊400円

- 第6集「芦屋の地名をさぐる」
- 第7集「写真で見る芦屋今むかし」
- 第8集「描かれた芦屋の風景」は各冊500円

※第1集「伝説・物語」
第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は完売しました。

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしやON LINE』でご覧いただけます。

KOBELCO 神戸製鋼グループ

神戸製鋼グループが運営する介護付有料老人ホーム 広告

便利でありながら閑静な住宅街、神戸市東灘区に立地。

ELEGAN KONAN
介護付有料老人ホーム
(一般型特定施設入居者生活介護)

見学会開催
2014年9/17(水)
11:00~14:00
(参加費:1,000円/入居費付)
詳しくは
下記フリーコールまで

0120-65-8208

見学会当日の契約は受け付けておりません。

神戸製鋼グループ(神戸製鋼所85%出資) 株式会社 **神鋼ケアライフ株式会社**
〒658-0015 神戸市東灘区本山南町3丁目3番1号
TEL:078-411-9600 FAX:078-411-9674
ホームページ <http://www.s-carelife.co.jp>